

連結決算補足説明資料

2024年3月期

(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年5月10日

(証券コード：9640)

株式会社セゾンテクノロジー

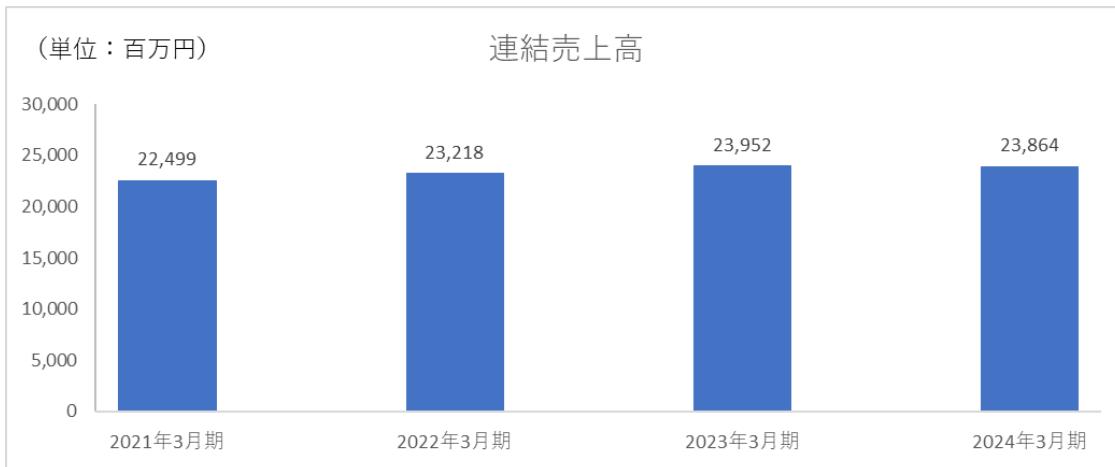
目次

1. 連結売上高・連結営業利益の推移
2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減
3. 事業セグメント別の損益状況
 - ① HULFT 事業
 - ② データプラットフォーム事業
 - ③ 流通 IT サービス事業
 - ④ フィナンシャル IT サービス事業
4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率
5. トピックス

(注) この資料に記載されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 連結売上高・連結営業利益の推移

■連結売上高



<当連結会計年度>

連結売上高は、データ連携ビジネス（HULFT事業及びデータプラットフォーム事業）が増収となったものの、特定顧客向けシステム開発・運用サービス（流通ITサービス事業及びフィナンシャルITサービス事業）が減収となったこと等により、23,864百万円（前年同期比0.4%減）となりました。通期予想（24,000百万円）は未達となりましたが、データ連携ビジネスが拡大したこと等により、事業構造の変革は想定通り進展いたしました。

<2023年3月期（通期）>

- HULFT事業及びデータプラットフォーム事業が拡大したこと等により売上が増加（前年同期比733百万円増）

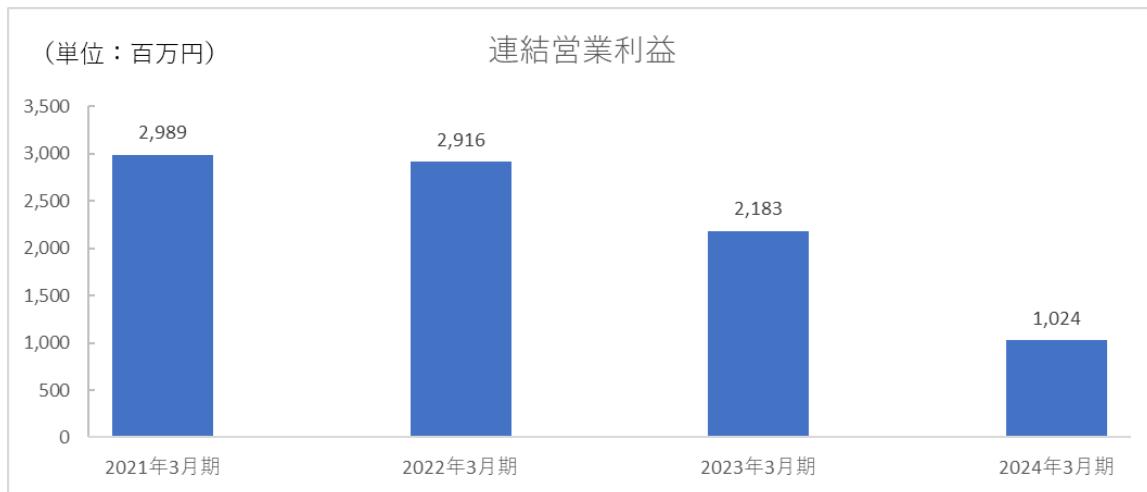
<2022年3月期（通期）>

- 事業モデルの転換に伴う既存事業の一部縮小はあった一方、成長の柱に位置付けるリンクエージ事業及びHULFT事業の売上が増加（前年同期比719百万円増）

<2021年3月期（通期）>

- 成長の柱に位置付けているリンクエージサービスが進展。一方、流通ITサービス事業及びフィナンシャルITサービス事業の既存領域におけるシステム開発・運用案件は減少（前年同期比1,061百万円減）

■連結営業利益



<当連結会計年度>

連結営業利益は、HULFT 事業が順調に増益となった一方で、流通 IT サービス事業において、受注損失引当金繰入額 1,805 百万円を売上原価に計上したこと等により、1,024 百万円（前年同期比 53.1% 減）となりました。通期予想（1,100 百万円）に対しては、は未達となりました。

<2023 年 3 月期（通期）>

- 「HULFT Square」等製品サービスの開発及び人的資本への費用が増加（前年同期比 732 百万円 減）

<2022 年 3 月期（通期）>

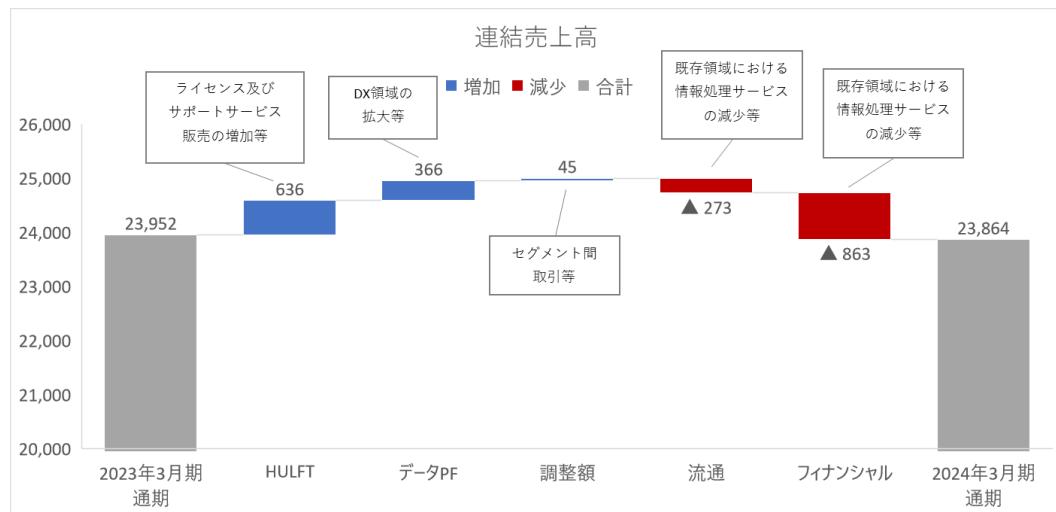
- 「HULFT Square」の研究開発費等が増加（前年同期比 72 百万円減）

<2021 年 3 月期（通期）>

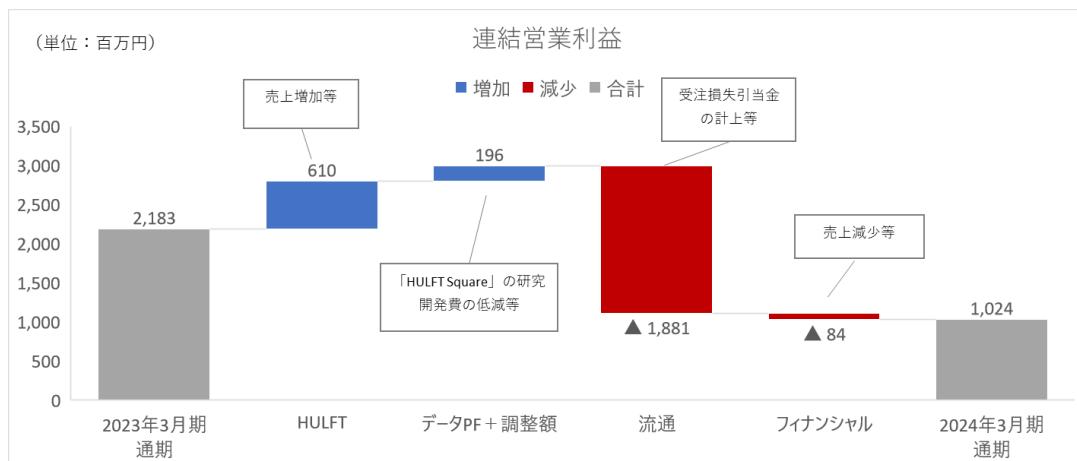
- リモートワークの拡大、イベント・商談のオンライン化等による生産性向上の取組みが奏功したものの、「HULFT Square」に関わる研究開発費が増加（前年同期比 460 百万円減）

2. 連結売上高・連結営業利益の事業セグメント別増減

■連結売上高



■連結営業利益



- ※ 連結営業利益における調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。前連結会計年度までは「HULFT Square」に関するコストを新サービスの研究開発として全社費用に計上しておりましたが、2023年2月にリリースしたことに伴い、当連結会計年度よりデータプラットフォーム事業の原価に計上しております。

- ※ セグメント名称は略称で表記しており、正式名称は以下のとおりです。

HULFT : HULFT 事業

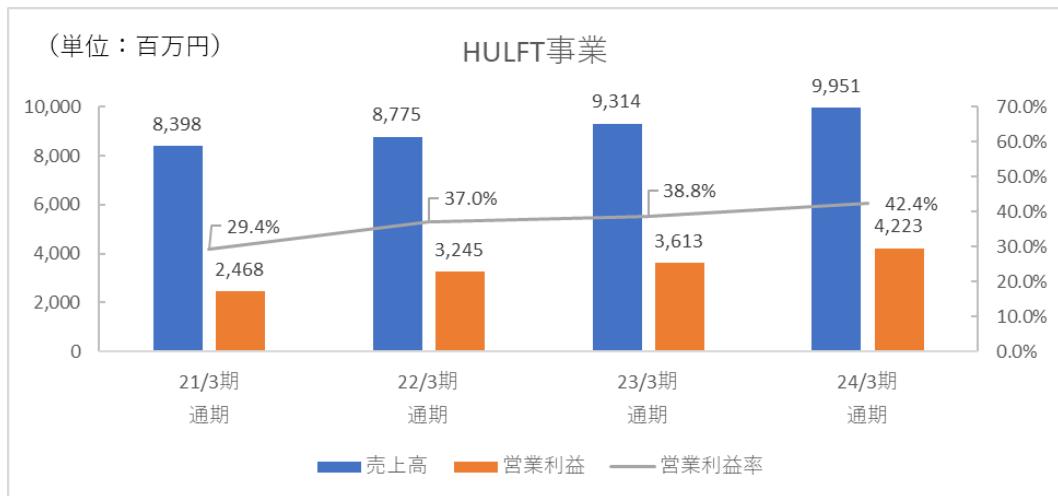
データ PF : データプラットフォーム事業

流通 : 流通 IT サービス事業

フィナンシャル : フィナンシャル IT サービス事業

3. 事業セグメント別の損益状況

① HULFT 事業



<当連結会計年度>

- ライセンス販売の増加及びサポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 636 百万円増）
- 売上高の増加等により営業利益増加（前年同期比 610 百万円増）

<2023 年 3 月期>

- 堅調な DX 関連システム需要を受けて、主力製品のライセンス販売、サブスクリプションサービス及びサポートサービス更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 538 百万円増）
- 売上高の増加等により営業利益増加（前年同期比 368 百万円増）

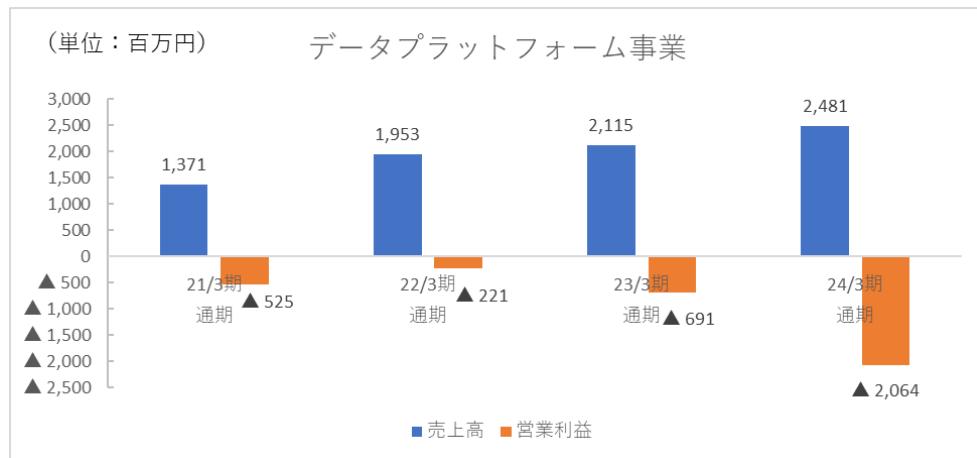
<2022 年 3 月期>

- 「HULFT」「DataSpider」のサポートサービスの更新が順調に推移したこと等により売上高増加（前年同期比 376 百万円増）
- お客様への提案モデルの具体化等、営業活動の改善による生産性向上に伴う販売費及び一般管理費の減少等により営業利益増加（前年同期比 777 百万円増）

<2021 年 3 月期>

- 「HULFT」「DataSpider」等のサポートサービスが増加したものの、サーバ向け基本ソフトウェア（OS）等の他社製品のサポート終了に伴う一過性のリプレース需要が一段落した影響を受けたことに伴い、売上高減少（前年同期比 180 百万円減）
- イベント・商談のオンライン化、営業活動品質・生産性向上等に伴う販売費及び一般管理費の減少等により営業利益増加（前年同期比 124 百万円増）

② データプラットフォーム事業



流通 IT サービス事業の一部としてサービス提供をしておりましたリンクエージビジネスは、今後の更なる事業拡大を目指し、2021 年 3 月期から「リンクエージ事業」として分離独立しています。また、2023 年 3 月期から「リンクエージ事業」を「データプラットフォーム事業」に名称変更しております。

<当連結会計年度（データプラットフォーム事業）>

- DX 領域が拡大したこと等により売上高増加（前年同期比 366 百万円増）
- 前連結会計年度までは、「HULFT Square」に関するコストを新サービスの研究開発として全社費用に計上しておりましたが、「HULFT Square」を 2023 年 2 月にリリースしたことに伴い、当連結会計年度よりデータプラットフォーム事業の原価に計上したこと等により、2,064 百万円の営業損失（前年同期は 691 百万円の営業損失）

<2023 年 3 月期（データプラットフォーム事業）>

- データ連携基盤構築サービスが拡大したこと等により売上高増加（前年同期比 162 百万円増）
- 今後の DX 案件需要増に対応する体制強化に伴う原価の増加等により 691 百万円の営業損失（前年同期は 221 百万円の営業損失）

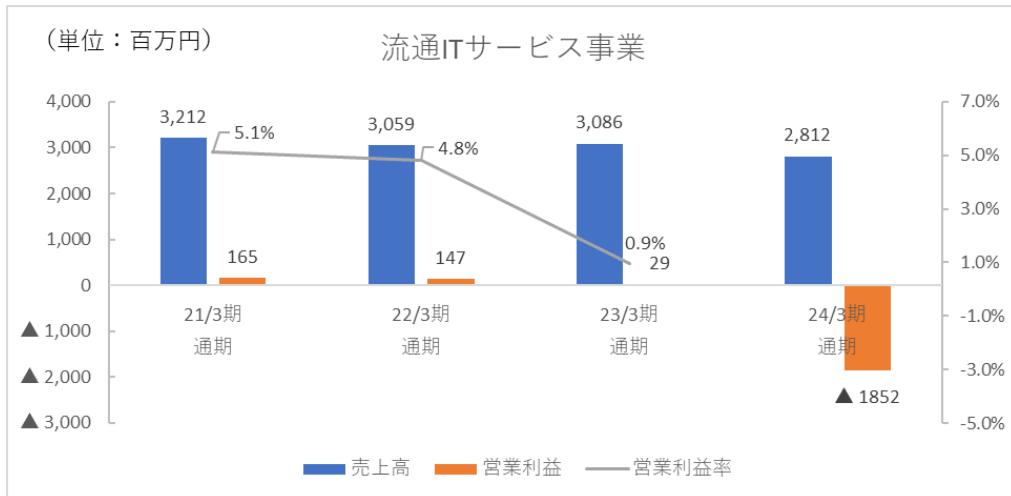
<2022 年 3 月期（リンクエージ事業）>

- モダンマネジメントサービス及びデータ連携基盤構築サービスの取引規模拡大、財務経理部門のデジタル化を支援するモダンファイナンスサービスで新規お客様獲得が進展したこと等により売上高増加（前年同期比 581 百万円増）
- 上記サービスの拡大に伴う 1 人当たり売上高及び 1 人当たり売上総利益の改善による収益性向上に伴い、営業損失は 221 百万円（前年同期は 525 百万円の営業損失）まで改善

<2021 年 3 月期（リンクエージ事業）>

- データ連携基盤構築サービスを中心に新規顧客の契約数増加及び既存顧客との取引拡大が進展したこと等により売上高増加（前年同期比 140 百万円増）
- 今後の事業拡大を目指した人員増加等に伴う販売費及び一般管理費の増加等に伴い、営業損失は 525 百万円（前年同期は 13 百万円の営業損失）となりました。

③ 流通 IT サービス事業



※2021年3月期から流通ITサービス事業はリンクエージビジネスを分離独立しています。2020年3月期以降は、リンクエージビジネスを分離させた調整後の数値です。

<当連結会計年度>

- 既存領域における情報処理サービスの減少等により、売上高減少（前年同期比273百万円減）
- 開発を進めていた一部プロジェクトに高負荷が発生したことにより、この立て直しに必要な今後の開発コストとして、受注損失引当金繰入額1,805百万円を売上原価に計上したこと等により1,852百万円の営業損失（前年同期は29百万円の営業利益）

<2023年3月期>

- 当社の強みが活きるDX領域の規模拡大等により売上高増加（前年同期比26百万円増）
- 既存領域に関わる情報処理サービスの減少等により営業利益減少（前年同期比117百万円減）

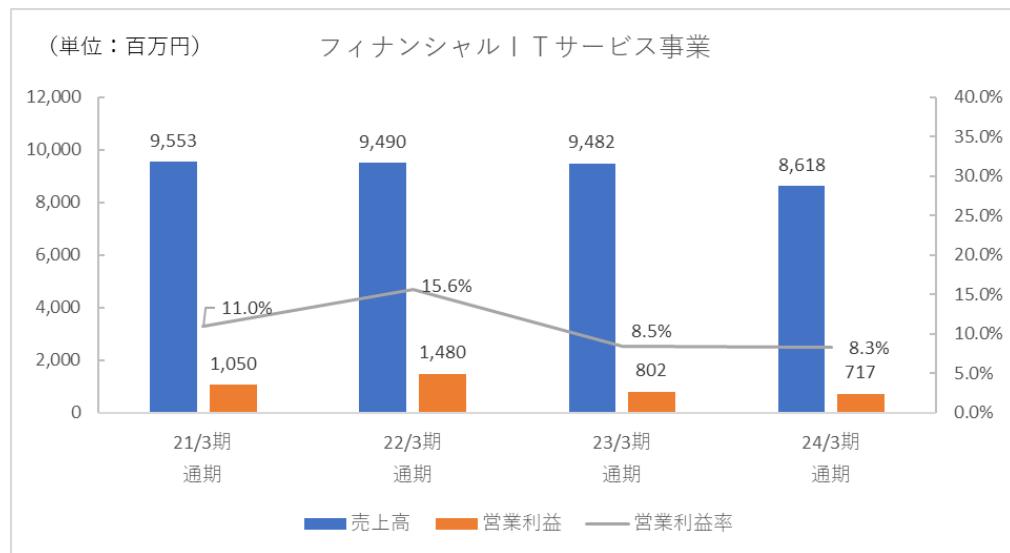
<2022年3月期>

- 当社の強みが活きるDX領域への選択と集中を図ったこと等により売上高減少（前年同期比153百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比18百万円減）

<2021年3月期>

- お客様の業務改善に向けたデジタル化支援等が進展したものの、システム開発案件が減少したこと等により売上高減少（前年同期比556百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比219百万円減）

④ フィナンシャルITサービス事業



<当連結会計年度>

- 既存領域における情報処理サービスの減少等により売上高減少（前年同期比 863 百万円減）
- 売上高の減少等により営業利益減少（前年同期比 84 百万円減）

<2023年3月期>

- 情報処理サービスが底堅く推移したものの売上高減少（前年同期比 7 百万円減）
- 前連結会計年度に利益率の高い案件があったことから対前年では営業利益減少（前年同期比 677 百万円減）

<2022年3月期>

- パブリッククラウド上の環境構築等、新規サービス提供の進展及び一部利益率の高い案件の前倒し精算があったものの、既存領域に係る売上の減少等により売上高減少（前年同期比 63 百万円減）
- 減価償却の減少に伴い売上総利益が向上したこと等により、営業利益増加（前年同期比 429 百万円増）

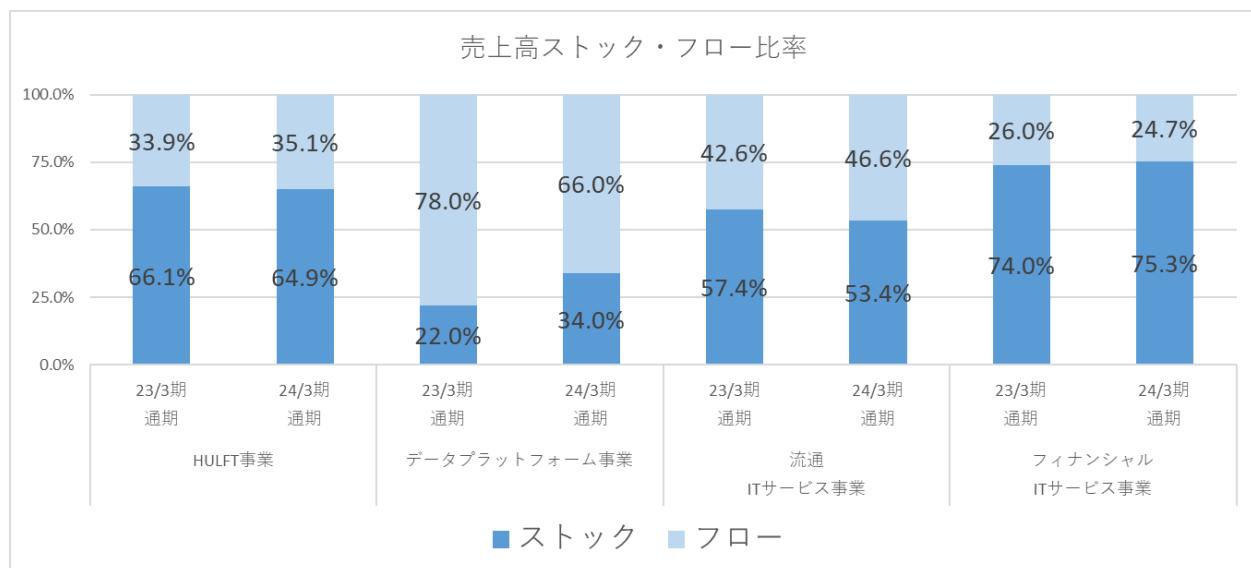
<2021年3月期>

- パブリッククラウド化へのインフラ環境構築等の新規サービス提供が進展したものの、既存領域におけるシステム運用案件が減少したこと等により売上高減少（前年同期比 481 百万円減）
- 売上高の減少に伴い営業利益減少（前年同期比 241 百万円減）

4. 事業セグメント別の売上高ストック・フロー比率

当社グループは、金融・流通小売業をはじめとする多種多様な業種向けシステム開発・運用等及びデータ連携サービスを提供しております。前連結会計年度にリリースした iPaaS（クラウド型データ連携プラットフォーム）である「HULFT Square」を基盤として、サービス提供を中心としたストック型ビジネスの拡大を目指しております。

以下は、セグメント別売上高ストック・フロー比率を当連結会計年度と前年同期で比較したデータです。



※ストックは継続取引（当社製品・サービスに関するサポートサービス、サブスクリプション型サービス、システム保守運用等）、フローはスポット取引（ライセンス販売、システム開発等）

5. トピックス

■ニュースリリース一覧（期間：2023年4月1日～2024年3月31日）

サイオステクノロジーとセゾン情報システムズ、「LifeKeeper」と「DataSpider Servista」の連携ソリューション提供に向け協業強化

- サイオステクノロジー株式会社と株式会社セゾン情報システムズは、ノンプログラミング／ノーコードでシステム間のデータやアプリケーションをつなぐ「DataSpider Servista」と高可用性ソリューション「LifeKeeper」で技術協力し、基幹業務系システムでのデータ連携自動化と安定した稼働を実現させる連携ソリューションを共同で推進することを発表いたしました。

当社エンジニア2名、AWS Japan主催の表彰プログラムに選出

～Japan AWS Top Engineers、小杉隼人が5年連続で受賞～

- AWS社のAWS Partner Network (APN)に参加している企業所属のAWSエンジニアを表彰するプログラム「2023 Japan AWS Top Engineers」及び「2023 Japan AWS Jr. Champions」に、当社社員2名が選出されたことをお知らせいたします。

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

- 当社は、2023年5月11日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を更新いたしました。

HULFT 30周年特設サイトオープン、記念キャンペーン開催

- ファイル連携ミドルウェア「HULFT」の発売から30周年を迎え、これまでのご愛顧を感謝して特設サイトをオープンいたしました。また、キャンペーン「HULFT THANKS PROJECT」を8月17日(木)まで開催いたしました。

大規模言語モデル（Large Language Models、LLM）研究会発足 ※1

- 当社は、誰もが普通の言葉で簡単かつ安全にデータを活用できる未来の実現に向け、大規模言語モデルに関する全社的な研究会である「LLM Mavericks ※2」を発足いたしました。本研究会を通じて、先端テクノロジーに関する知見の蓄積や発展を加速させ、自社業務やお客様向け製品サービスへの早期活用を目指しております。

※1 大規模言語モデル（Large Language Models、LLM）とは、非常に巨大なデータセットとディープラーニング技術を用いて構築された言語モデルのこと

※2 Mavericksとは、新しいアイディアやアプローチを追求する個性的な人々のこと

「HULFT Square 技術者資格認定制度」を提供開始

- iPaaS 「HULFT Square」 の技術者を対象に「HULFT Square 技術者資格認定制度」の提供を開始いたしました。本制度は、「HULFT Square」の基礎的な知識や技術力を認定いたします。認定試験はオンライン形式で、事前に「HULFT Square 導入編」の研修受講を前提としております。今後、応用的な技術力を測るための認定範囲の拡張も予定しております。

データサイエンティスト育成支援の経過公表

- 当社は、これまでのデータエンジニアリングで培ってきたノウハウを活かし、2019年より滋賀大学・帝国データバンク Data Engineering and Machine Learning Center（以下、DEMLセンター）で学生のデータサイエンティスト育成を支援しております。DEMLセンター開設後、在籍学生数は約3年間で延べ44名になり、当社提供による「DataSpider」の研修は、同センター以外の学生も含め50名が受講しております。この中から27名がデータサイエンティストとして様々な企業・団体で活躍しています。

セゾン情報システムズは「セゾンテクノロジー」へ 技術起点でのさらなる事業発展に向け、 2024年4月1日商号変更

- 当社は、第54期定時株主総会における議案承認を受け、2024年4月1日をもって「株式会社セゾンテクノロジー（英文表記：Saison Technology Co.,Ltd.）」に商号変更いたしました。

スクウェア・エニックスの欧州拠点、ソフトウェア統合管理と

グローバルERP統一プラットフォーム移行のため、HULFT Integrateを選定⇒

- ゲーム業界の大手企業であるSquare Enix LTD.（株式会社スクウェア・エニックスの欧州拠点）が、当社グループ会社 HULFT, Inc.の提供する「HULFT Integrate」を財務・販売データの効率的な管理・統合のために採用したことを発表いたしました。

セゾン情報システムズとnCino

銀行業務のDX推進支援のため『連携ソリューション』を発表

- 銀行業界は競争環境の激化や顧客の期待値の高まりにより、DXが急務となっています。しかし、思うように進まない要因の一つに、勘定系などのオンプレミスシステムとクラウド環境の周辺業務システムを連携させる際の、インターフェース開発にかかる膨大な工数とそれに伴うコスト増があります。今回発表した連携ソリューションの「nCino」は融資プロセスの一元管理を実現し「HULFT Square」と「HULFT」を利用しオンプレミス環境とデータ連携することにより、インターフェース開発の工数とそれに伴うコスト増を抑え銀行業務のDX推進を支援します。

貿易 DX を推進するトレードワルツが、セゾン情報システムズと協業

- 株式会社トレードワルツは、貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」（以下「TradeWaltz」）の API 利用拡大に向け、セゾン情報システムズが提供する iPaaS 「HULFT Square®」を用いた実証試験で、TradeWaltz ユーザーによる自社システム-TradeWaltz 間の API 連携にかかる手間や時間を飛躍的に効率化・短縮できることを明らかにしました。

日本記念日協会から記念日登録ダブル認定

- 今年の「HULFT 発売 30 周年記念日」および 2 月 9 日「データをつなぐ日」が、一般社団法人日本記念日協会より正式に記念日登録の認定を受け、セゾン情報システムズ本社にて「記念日登録証」が授与されました。

日立システムズ「Gateway for Business Cloud」とセゾン情報システムズ「HULFT Square」の連携によって、お客様の DX に必要な SaaS・クラウド利用を促進

- 株式会社日立システムズとセゾン情報システムズは、お客様の DX に必要なクラウド・SaaS 利用の促進を目的に、マルチクラウド環境を効率よく構築・運用するために必要な各種サービスを体系化したマネージドサービス群である日立システムズ「Gateway for Business Cloud」と、日本発 iPaaS である「HULFT Square」を組み合わせて提供します。

「第 18 回 日経 IR・個人投資家フェア 2023」に参加し、会社説明会を実施いたしました。

- 「第 18 回 日経 IR・個人投資家フェア 2023」に参加し、会社説明会を実施いたしました。当日の会社説明会動画を期間限定で公開しております。
＜当社 YouTube チャンネル＞

<https://www.youtube.com/watch?v=rr81bdRsuHo>

※2023/9/1-2 日本経済新聞社主催「第 18 回 日経 IR・個人投資家フェア 2023」
無断使用・無断転載禁止

ファイル転送ツール分野において、「HULFT」20 年連続国内市場シェア 1 位を獲得

- 株式会社富士キメラ総研が 2023 年 7 月に発行した「ソフトウェアビジネス新市場 2023 年版」のファイル転送ツール分野において、「HULFT」が 20 年連続で国内市場シェア 1 位を獲得したことを発表しました。

事業と CSR をつなぐ営業利益 1% 寄付でサステナビリティ経営を加速

- セゾン情報システムズは、持続可能な社会の実現に向けてサステナビリティ経営を加速させるべく、2022 年度営業利益の約 1% に相当する約 2,156 万円を計 11 団体に寄付しました。当社は 2020 年度より前年度営業利益の 1% を非営利団体に寄付してきましたが、今回より寄付方針を大きく見直し、当社ミッションおよびマテリアリティ（重要課題）に関連した活動を行う団体を対象としています。

欧米向けに「HULFT Square」を10月5日に提供開始

- 2月9日に国内でサービス開始した日本発 iPaaS 「HULFT Square」を、今秋10月5日より欧米市場でも提供することを発表しました。このサービス開始に合わせ、11月にアメリカのラスベガスで開催される AWS re:Invent 2023 にも出展しました。

セゾン情報システムズ「HULFT Square」とエム・データ「TV メタデータ」の連携により、データ活用や DX を推進

- セゾン情報システムズとテレビの放送内容をテキスト化した「TV メタデータ」を提供する株式会社エム・データは、効率的なデータ活用や DX を推進するための協業を発表しました。

「HULFT Technology Days 2023」の開催を発表

- セゾン情報システムズは、年次イベント「HULFT Technology Days（ハルフト テクノロジー デイズ）2023」の開催を発表しました。11月7日（火）に会場にて、21日（火）および22日（水）にオンラインにて開催します。本年は、テーマとして「DX のバラバラを、スルスルに。データ活用へはデータ連携から。」と題し、当社ミッションの「世界中のデータをつなぎ、誰もがデータを活用できる社会を作る」を実現するためのテクノロジーに焦点を当て、イベント名称に「テクノロジー」を加えて、当社の強い意志と取り組みを表明しております。

DATAFLUCT とセゾン情報システムズ、オンプレミスも含めたあらゆる環境のデータと非構造化データの活用を加速

- DATAFLUCT の「AirLake」とセゾン情報システムズの日本発 iPaaS 「HULFT Square」を連携し、「オンプレミスも含めたあらゆる環境のデータ」や「非構造化データ」のデータ収集・整理・分析を自動化し情報検索やレポーティングなど、人手が必要なバックオフィス業務削減が可能なソリューションを提供開始しました。

[【HULFT Square】導入事例公開「日清食品ホールディングス株式会社様」](#)

セゾン情報システムズ「HULFT Square」とアット東京「ATBeX」、 オンプレミスやマルチクラウド環境に分散したデータの連携を閉域網でスピーディに提供

- セゾン情報システムズと株式会社アット東京は、既に「ATBeX」へ接続しているお客様はもちろんのこと、これからクラウド環境に関わらず「HULFT Square」を利用し、SaaS 間連携やオンプレミス・クラウド間連携といったデータ連携を始めるお客様へもスピーディに閉域網でサービスを開始しました。

「HULFT Square」アップデート（No.2023.3）

- 「HULFT Square」は3か月ごとに、新機能やお客さまからのご要望を取り入れ定期アップデートを実施しています。グローバル展開に向けたセキュリティ強化に関する今年5月のアップデート（No.2023.2）に続き、今回のアップデートではお客さまの内製化促進とマルチクラウド・マルチSaaSの環境下におけるITガバナンス強化に焦点を当てています。

長野県はセゾン情報システムズのHULFTシリーズを住民生活の向上を目指したデータ連携基盤に採用

- 長野県が洪水予測などの住民生活の向上を目指したデータ連携基盤に、「DataSpider Servista」と「HULFT DataCatalog」を採用したことを発表しました。この基盤は、2023年4月から運用開始されており、77市町村を対象とし、これまで個別にデータ取得・保有していた負担を軽減しながらデータ収集ができます。

「Enterprise向け生成AI導入支援サービス」を提供開始

- 現在多くの企業において、生産性向上や新規アイデアの創出等に有効なツールとして生成AIの利用が検討されています。一方、生成AIの業務利用は、ルール整備やセキュリティ担保といった課題も多くあります。当社グループは、これら課題を解決し、生成AIをメッセージングアプリ経由で利用可能にする「Enterprise向け生成AI導入支援サービス」の提供を開始しました。

新CM「データ連携、これシカない！」動画を公開

- 「データ連携、これシカない！」動画をWEBサイトで公開しました。この動画は「S.RIDE」や「DiDi」などの東京都内最大級タクシーサイネージメディア「THE TOKYO TAXI VISION GROWTH」にて、10月30日～11月5日及び11月13日～11月19日の期間に配信されました。
 - ・ CM15秒：<https://www.youtube.com/watch?v=6p-wRSmToWoico-external-link.svg>
 - ・ CM30秒：<https://www.youtube.com/watch?v=5Jx2uJnRbHcico-external-link.svg>

「HULFT Square」、データ連携の内製化を支援するアプリケーションテンプレートを提供開始

- 「HULFT Square」を利用する企業向けにアプリケーションテンプレートの提供を開始いたしました。これは、当社グループが作成した「HULFT Square」内のスクリプトをユーザー企業様がダウンロードして、アプリケーションとして利用することができる「HULFT Square」に新たに追加された機能の一つです。今回第1弾として、電子契約システムの自動化の内製化を促進するためのアプリケーションテンプレートの提供を開始しました。

セゾン情報システムズとアスエネ、CO2 排出量算出に関わるデータを自動取得脱炭素経営を実現させる協業を開始

- アスエネ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：西和田 浩平）は、セゾン情報システムズの「HULFT Square」と CO2 排出量見える化・削減・報告クラウドサービス「アスエネ」を連携し、脱炭素経営を加速させる CO2 排出量算出の自動化サービスを 2023 年 11 月 1 日（水）より、提供開始しました。

セゾン情報システムズの「HULFT Square」と Persefoni の「パーセフォニ」の連携により CO2 排出量算定の作業負荷を約 90% 削減可能

- セゾン情報システムズと Persefoni Japan 合同会社（本社：米国アリゾナ州テンピ、CEO：ケンタロウ・カワモリ）は、脱炭素経営加速のため、CO2 排出量算定作業の自動化を検証テストし、「HULFT Square」と「パーセフォニ」連携で、作業負荷約 90% を削減可能と発表しました。

「HULFT DataCatalog」開発生産性が評価され、「Findy Team+ Award 2023」に選出

- 当社グループは、メタデータ管理ソフトウェア「HULFT DataCatalog」の開発部門の生産性が高いとして、ファインディ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役 山田裕一朗）が主催する「Findy Team+ Award 2023」にて、「組織別部門（50 名未満）」表彰企業 8 社のうち 1 社に選出されました。

若手エンジニアの初挑戦で Google Cloud Partner Top Engineer 2024 を初の受賞

- 開発本部開発統括部プロダクト開発部に所属する澤木佑果が、Google Cloud パートナー企業所属のエンジニアの活動を表彰する「Google Cloud Partner Top Engineer 2024」に選出され、本日開催の Google Cloud Japan Partner Forum 2023 にて表彰されました。

「HULFT Square」、内部統制の国際認証「SOC2 Type1 保証報告書」を受領

- 「SOC2 Type1 保証報告書」は、米国公認会計士協会（AICPA）が定めた Trust サービス基準のうち「セキュリティ」に関わる内部統制のデザインを、外部監査人が第三者の立場で評価したものです。この取得により、「HULFT Square」のシステム上のセキュリティ要件が国際基準を満たしていることが認められました。

「HULFT Square」、契約業務におけるデータ連携を支援するアプリケーションテンプレート第2弾の提供を開始

- 第1弾に続き、「HULFT Square」と電子契約システム2社のクラウドサービスを連携するためのアプリケーションテンプレートを追加しました。今回提供を開始する電子契約用アプリケーションテンプレートは、GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社の「電子印鑑GMOサイン」ならびにドキュサイン・ジャパン株式会社が提供する「DocuSign eSignature」用です。

ビジネスレポート2024(上半期)発行のお知らせ

「HULFT Square」、人材不足の解消に向けてデータ連携を支援するアプリケーションテンプレートの提供を開始

- 企業内の人材データは、様々なシステムに散在し、フォーマットがバラバラ、手入力による作業が発生するといった課題があります。「HULFT Square」は、タレントマネジメントシステムシステム連携を容易にするアプリケーションテンプレートの提供を開始し、これによりお客様の人材データの連携を促進します。

「HULFT Square 運用監視Plus」提供開始

- お客様の安全安心な「HULFT Square」利用を可能にする24/365リアルタイム監視サービス「HULFT Square 運用監視Plus」を提供開始しました。お客様側での運用の構築や担当者の割当が不要になり、夜間・休日を含み専門担当者が対応を代行するため、運用コストを低減できます。

「HULFT Square」アップデート(No.2023.4)

- 「HULFT Square」は、新機能やお客様からのご要望を取り入れ四半期ごとにアップデートしております。今回は、データ連携基盤や大規模開発に対応するため「アプリケーション」機能をアップデートし、HULFT Squareのサービスの中で、開発環境からテスト環境、ステージング環境、本番環境までとシステムをリリースするまでの段階を経られるようになりました。

「HULFT」、メジャーバージョンアップ開始。第一弾クラウド・コンテナ利用促進のため

Amazon ECS に対応

- 「HULFT」は、10年ぶりとなるメジャーバージョンアップ版「HULFT10」を発表しました。「HULFT10」はハイブリッド環境での利用を想定して開発し、2024年度に稼働環境に応じた製品を発売予定です。まず第一弾として「Amazon Elastic Container Service」に対応した「HULFT10 for Container Services」を、2024年2月9日（金）よりAWS Marketplaceで販売開始しました。

セゾンテクノロジーへの商号変更に伴うコーポレートロゴおよび海外子会社商号の変更について

- 「株式会社セゾン情報システムズ」から「株式会社セゾンテクノロジー」への商号変更に伴い、コーポレートロゴおよび海外子会社商号を変更しました。



※海外子会社の商号等詳細は、[ニュースリリース](#)をご覧ください。

エンジニア3名がAWSコミュニティビルダーに選出

- 森尾孟倫（開発本部所属）と石原直樹（DI本部所属）の2名が、Amazon Web Services, Inc. の運営する「AWS コミュニティビルダーズプログラム」にて、「AWS コミュニティビルダー」として新たに選出されました。また、小杉隼人（テクノベーションセンター所属）も2020年より選出されており、当社には3名のAWS コミュニティビルダーが在籍していることになります。

株式の売出し並びに株式会社メルコホールディングスとの資本業務提携契約の変更

並びに主要株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ

<お問い合わせ先>

株式会社セゾンテクノロジー

経営戦略本部 経営企画課

Tel : 03-6370-2930

URL : <https://www.saison-technology.com/>